

ハケ岳 南沢 アイスクライミング

平成24年3月25日 (前夜発日帰り)

L : 河崎 淳一

R : 早川 尚武

今シーズンの結氷はかなり良く、かなり遅くまで遊べそうとの情報。最後にもう1本、行ってみましょう、と言う事で、ハケ岳南沢へ向かった。前夜の仮泊地は甲斐小泉駅のホームの待合所。終電の後にこそっとおじやます。静かな所で明日に備えて休息。

起床・・・5 : 30

出発・・・6 : 20

朝起きると、辺りの景色はうっすらと雪化粧。結構気温が低い。天気はまずまず。空気だけを運んでいる始発電車を見送って出発。

期待を胸に、美濃戸へと向かう。林道が凍結しているので、スノータイヤでもチェーンが必要、との事であったが、残念ながら持ち合わせていないので、そのまま突入。林道入り口から始まる急な下り坂は無事に通過。柳川を渡って回り込み、次の上り坂のカーブを過ぎた所で登坂不能に。路面が完全凍結していて、タイヤがグリップせず、ブレーキすら効かない状態に。やむを得ずバックして、と言うよりそのまま滑り落ちて引き返し、橋のたもとの広場に駐車した。

車をどっかにぶつけた訳でもないのに、気にしないで歩き始める。美濃戸山荘までは、30分程で到着。それほど大きなロスでも無い。まだ山は冬景色である。意外なほど空気

が冷たい。この分だと、氷もそれほど緩んでいないかも。いい感じかな。話しによれば、地元のガイドが、滝の落ち口を均して水流を拡げ、氷瀑の中が大きくなるようにしたのだとか。以前よりルートの数が取れるようになったそう。楽しみな事です。

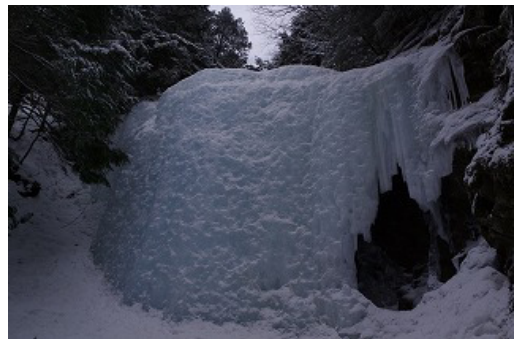
駐車スペース出発・・・7 : 20

美濃戸山荘・・・8 : 20

南沢小滝・・・9 : 20

まずは小滝に到着。ちょこっと様子を見て大滝へ向かう。小滝も盛況。なんか見覚えがある人がいるな、と思ったら、前回エイプリルフールに来ていた人達が取付いていた。

大滝は少し登った所にあるので、僅かな距離である。さあ、行きましょう、と歩き始めると、いきなり、「氷の破片で切っちゃいましたあ。」と言いながらパーティーメンバーに付き添われて下山して行く人が。顔面、流血で簾の様に。登る前から脅かしてくれじゃないですか。



～小滝全景～

大滝に到着して、状態を見してみる。上部が鱗状に見えて、ちょっと難しそうな感じ。頑張っ、行ってみるしかないけど。

身支度を調べ、河崎さんリード。トップロープをセットしてもらい、取付く。結構立っている。思ったより気温が低く氷はまだまだしっかりしている感じ。へこたれずに登り切った。

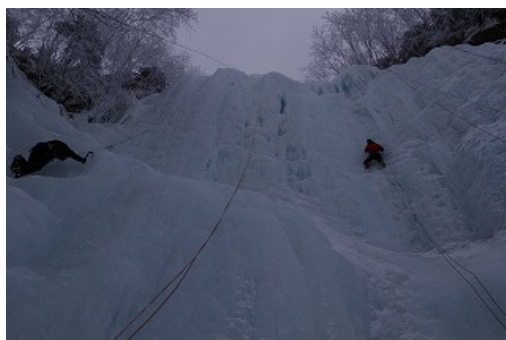
降りたところで交替。ビレイ中、周りのルートから氷の破片がひっきりなしに飛んでくる。これが結構な大きさ。当たると痛い。周りでは、避けきれずに顔面に受け、怪我をする人も。シーズン終盤で、破片が大きくなっているのかも。前回の大谷不動で、ガイド山行で来ていた人達とまたしても会ったが、その内の1人が受傷してしまっていた。

登り応えがある大滝を、各自2本ずつ登って、お昼になったところで、小滝に移動する。休憩して今度は、早川がついにリードトライ。

1本目、なんだかジタバタして、うまくスクリュウが打てず。気を取り直して2本目、今度はスムーズにスクリュウが打てた。上達したのが実感できて嬉しい限り。

各自2本ずつリードして今シーズンを締め括った。次のシーズンに期待が持てとても嬉しく思った。

帰る頃には、凍っていた林道はすっかり溶けていた。それでもお天気は薄寒く、小雪が舞い始めている。積もらず溶ける、名残りの雪が降りしきる中、帰路に着いた。



～大滝～



撤収・・・・・・・・・・15：45
美濃戸山荘前・・・・16：20
駐車スペース帰着・16：45